

星のたより

2025(令和7)年
11月号
Vol. 374

小惑星「吉川経家」誕生

～岩国市との姉妹都市
提携 30 周年記念～

岩国市との姉妹都市提携 30 周年に合わせ、鳥取市さじアストロパークで発見した小惑星「(165167) 2000 QY109」に「Kikkawatsuneie (吉川経家)」と国際天文学連合へ命名申請し、正式に命名されました。この小惑星は、太陽の周りを 3 年 190 日で回っていますが、現在、地球から遠くて観察が難しい時期です。次の観測好機は 2026 年 1 月頃で、冬の星座・ふたご座方向にあって明るさは約 19 等です。この明るさは肉眼で見ることが出来る最も暗い星である 6 等星の 16 万分の 1 という微かな明るさです。そのため、103 cm 望遠鏡を直接目で覗いても見ることができませんが、星空を見上げるきっかけになればと思います。

出前観察会をおこないました

イオン鳥取店さんのご協力により、第 9 回出前観察会「中秋の名月を見よう」をイオン鳥取店屋上駐車場でおこないました。当日はときどき雲が通過しましたが、中秋の名月とちょうど近くにあった土星を、みなさんに見ていただきました。

今年度、出前観察会をあと 3 回予定しています。皆様ぜひお越しください。



イオン鳥取店屋上での観察会



さじアストロパークの
ホームページはこちら

第 10 回出前観察会「月とすばるの接近を見よう」11 月 6 日(木) 19:00～20:00

場所：鳥取市役所 7 階展望ロビー（定員 35 名、要予約）

第 11 回出前観察会「大きな月と土星を見よう」12 月 5 日(金) 18:30～20:00

場所：イオン鳥取店屋上駐車場（定員なし、予約不要）

第 12 回出前観察会「木星を見よう」1 月 30 日(金) 18:00～19:00

場所：鳥取市役所 7 階展望ロビー（定員 35 名、要予約）



イベント★耳より情報

☆内容や日程が変更となる場合があります。
公式ホームページで最新情報をご確認ください

☆期間展示☆さじアストロパークコレクションシリーズ①「天文現象」11 月 30 日(日)まで
1994 年 7 月オープン以降、これまでに起こった様々な天文現象の写真などを展示

第 12 回アストロ宇宙写真展 12 月 10 日(水)～2026 年 3 月 15 日(日)

さじアストロパーク職員が撮影した星や宇宙に関連した写真を解説付きで展示

☆プラネタリウム☆ 第 1 部 専門職員によるライブトーク

第 2 部 テーマ番組「ゆるり星空めぐり 星のいろいろ」

9 月 18 日(木)～12 月 14 日(日)

☆夜間観望会☆ ☆11 月のテーマとおすすめ情報

環のない土星 1(土)、2(日)、8(土)、15(土)、22(土)、23(日)、29(土)

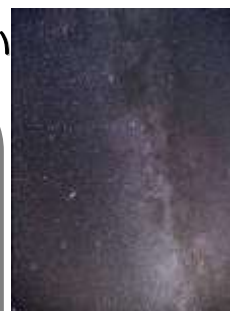
観望会で月がよく見える 1(土)～3(月・祝)、28(金)～30(日)

観望会で満天の星が楽しめる 12(水)～16(日)、19(水)～24(月・祝)

☆11 月の休館日 4(火)、10(月)、11(火)、17(月)、18(火)、25(火)



「星のたより」はこちらから



※イベントの詳細やその他の情報はさじアストロパークのホームページなどを参考にしてください。

1. プラネタリウム ☆平日は3回、土日祝は4回投影しています
前半は専門職員による当日夜の星空生解説、後半はテーマ番組投影の2部構成です。テーマ番組は定期的に変更しています。

★前半の当日夜の星空解説

星座の探し方を中心に当日夜の星空を専門職員が語り紹介します。

★後半のテーマ番組

秋のテーマ番組【ゆるり星空めぐり 星のいろいろ】

※星の色々な秘密と魅力をゆるりにご案内します。 投影期間：9月18日(木)～12月14日(日)



2. 103cm大型望遠鏡での夜間観望会（天体観察会）

月明かりの有無や空の状態により、当日の見ごろの天体が異なります。土曜日の事前予約は不要です。その他の曜日については、個人の方はご利用日の前の開館日・午後5時まで、団体の方は曜日にかかわらず1カ月前までにご予約ください。



11月の星座と観察天体より

☆ うお座

紀元前3000年ごろの古代バビロニア時代から存在していた古い星座です。ただ当時は、魚ではなく人魚と下半身が魚の姿のツバメだったようです。ギリシャ時代になり現在のような2匹の魚がひもでつながった姿になりました。この2匹の魚は、美の女神アフロディテ（ビーナス）とその子である愛の神エロス（キューピッド）の親子が怪物テュフォンに襲われたときに、慌てて川に飛び込み、魚に姿を変えて離れ離れにならないようにひもで結びあって逃げた時の姿だといわれています。



誕生星座の一つですが、4等星以下の暗い星々でできているため実際の空で見つけるのは苦労します。大まかな目安は、秋の四辺形の南側と東側ですので、暗い星々がよく見える夜に探してみてください。今年に限って言えば、土星が南側の魚の近くにいますので目印になります。うお座には現在、星空座標の原点の春分点があります。

11月は月に注目！

後の月・スーパームーン プレアデス星団の食

☆ 11月2日 後の月（十三夜） 十三夜は日本独自のお月見の風習です。栗名月とも呼ばれます。

☆ 11月5日 スーパームーン この日の満月は、地球と月の距離が約35万7000kmとなり、今年が一番大きな満月「スーパームーン」です。逆に今年が一番小さな満月「ミニマムムーン」は、4月13日の満月で、地球と月の距離は約40万6000kmでした。

☆ 11月6日 プレアデス星団の食 月がプレアデス星団（すばる）の目前を通り過ぎながら、星々を隠す現象がみられます。満月すぎの明るい月のため観察には双眼鏡があるといいでしょう。



土星特集

今、土星が見ごろとなっています。今年は約16年振りに環の消えた土星を見ることができます。望遠鏡で見ることができますので、珍しい土星をぜひ見てみてください。

土星ってどんな惑星？



土星のデータ

赤道半径：60,268km

自転周期：約10時間

公転周期：約29.5年

平均密度：0.7

太陽からの平均距離：14億3000万km

土星は太陽系の中で2番目に大きな惑星です。地球の約9倍あります。ただ、平均密度は0.7しかありません。もし土星を浮かべることができるプールがあったら、水にういてしまいます。また、惑星の中で衛星の数がいちばん多く、確定番号のついていない衛星を含めると274個あります。その中には、土星最大の衛星タイタンがあり、地球外生命が期待されています。

土星の環が消える？

土星の環は年ごとに傾きが変わります。右の画像は、2020年から2025年までの環の傾きの違いを撮ったものです。年ごとに傾きの小さくなっていくのがわかります。今年は約16年ぶりに土星の環の消失が起こります。

土星の環は、厚さが平均数百メートルしかありません。地球から見て土星の環がほぼ真横を向くため、土星の環が消えたように見えてしまいます。次回、環の消失が起きるのは2039年です。

観察会情報

さじアストロパークでは、11月は「土星」を一番のテーマ天体として夜の観察会を行います。103cmの大型望遠鏡を使って土星を観察しますので、ぜひご参加ください。

※土曜日は予約なしで参加できます。その他の曜日は予約が必要になります。

時 間：20:00～20:45

参加費：大人（高校生以上）600円（入館料含む）

小人（小中学生）200円

お問い合わせ、ご予約は右記の電話番号へ



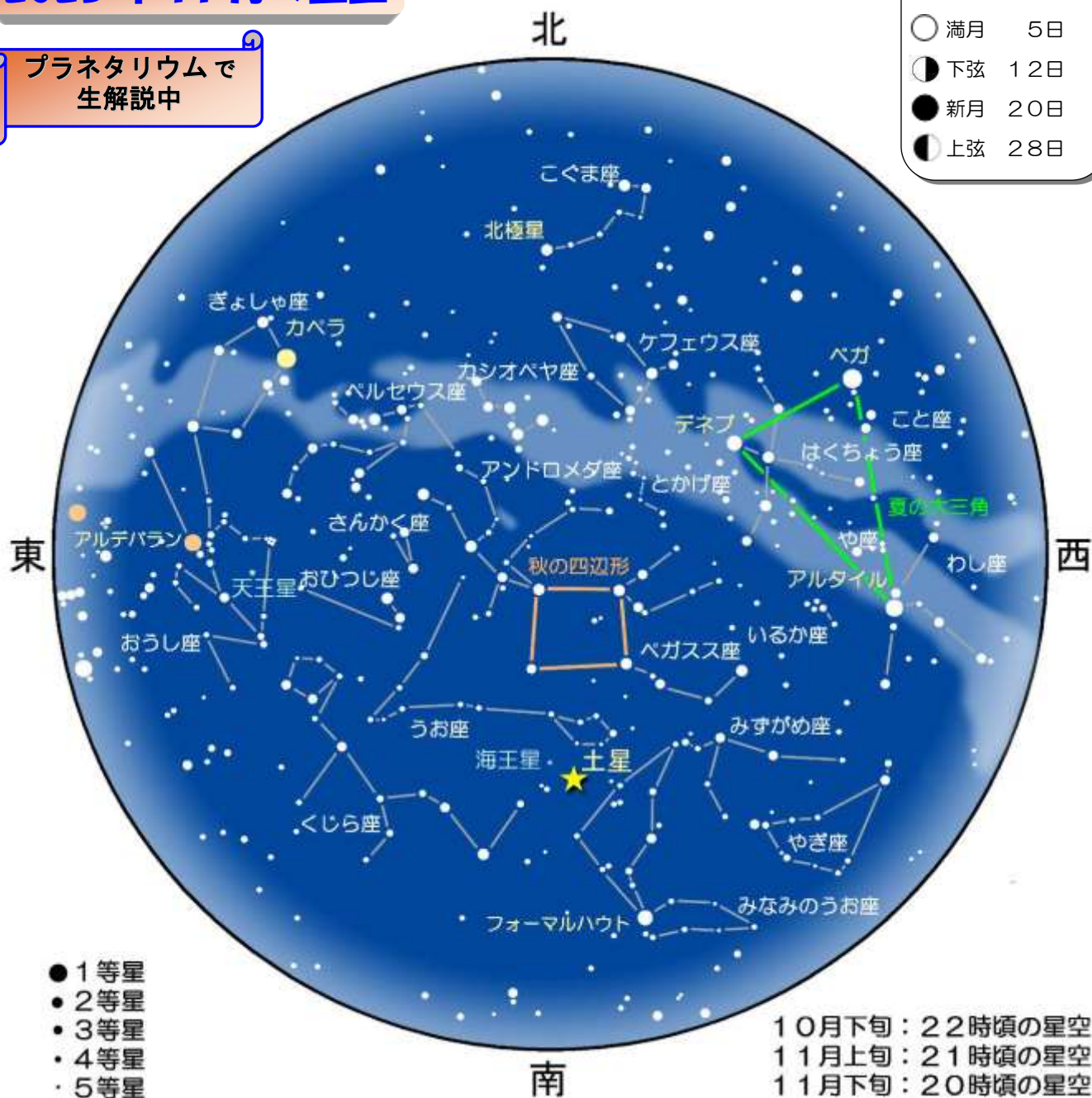
鳥取市さじアストロパーク
鳥取市佐治町高山1071-1
TEL 0858-89-1011

2025年11月の星空

プラネタリウムで
生解説中

11月の月の暦

- 満月 5日
- ◐ 下弦 12日
- 新月 20日
- ◑ 上弦 28日



☆秋も深まり夜はすっかり冬の気温です。星空を眺めるときはしっかりと冬の装いがおすすです。ホットココアやコーヒーを用意してもよいでしょう。

☆夏の星座たちがどんどん西の空へ傾きました。「夏の大三角」もかなり低くなり、「天の川」と風景が楽しめる時期ですね。この時期は秋の星座が主役。真上を見上げて「秋の四辺形」を見つけてみましょう。逆さを向いた大きな「ペガサス座」が見つかりますよ。少し南に目を向けると見ごろを迎えた「土星」があります。25日ごろには「環が（ほとんど）ない土星」も観察できます。さらに南の空低いところには秋の星空唯一の1等星「フォーマルハウト」が輝いています。秋の四辺形の北側には「アンドロメダ座」「ペルセウス座」「カシオペア座」「ケフェウス座」、南東には「くじら座」と古代エチオピア王家の物語が繰り広げられています。東の空には冬の星座が出番を待っていますね。



さじアストロパーク

検索

プラネタリウムや観測会の時間、休館日、宿泊の予約など詳しい情報については[ホームページ](#) & [Facebook](#) でチェック。Youtube、インスタも開設。

鳥取市さじアストロパーク

〒689-1312 鳥取市佐治町高山 1071-1

TEL 0858-89-1011 FAX 0858-88-0103

e-mail sj-astro@city.tottori.lg.jp